

PCR検査の大幅拡充で感染抑制を

近江八幡のクラスターから甲良の子どもらへ

コロナ感染者が町内で確認されました。23日、緊急の全協が召集。近江八幡の会食でクラスター（集団感染）が発生した会場に参加していた女性（21日の検査で陽性）の夫と子ども3人の感染が判明したこと、感染の経過、西小学校の臨時休校、西小放課後児童クラブ休止、今後の対応などが報告されました。防災無線で町長が同日、この感染状況を報告しました。町では感染した子どもも所属するクラス全員のPCR検査を25・26日で実施します。甲良町内の感染者累計は5人です。

感染地域の住民全員の検査を

志位委員長の見聞

7月17日・抜粋

日本共産党の志位氏は東京で新たに300人近い感染者が確認されたことを受け、大変憂慮すべき事態だ」と述べ、旅行需要喚起策「G・Oトラベル」キャンペーンの見送りを求めました。

志位氏は安倍政権の対応について、感染防止の有効な対策を何もやっていない。非常に大きな問題だ」と批判。その上でPCR検査の抜本的拡充を提起し、特に市中感染が広がっている地域を特定し、その地域については住民全体を検査対象にする。医療・介護・障害福祉・保育・教育の関係者についてはPCR検査をおこなうよう求めました。

無症状感染者の早期保護を
大規模な検査によって、特に無症状の感染者などを早期に見つけ出し、隔離・保護・治療することが、感染抑制のために絶対必要だ。徹底した検査の戦略を国は持

っていない。専門家の知見を集め、積極的な検査戦略を持ち、直ちに実行に移すことを強く求めたい」と強調しました。

厚労省

コロナ検査拡大

地域・集団の全員も

厚労省は保健所が行う新型コロナウイルス感染症の行政検査について、有症者と「濃厚接触者」など限定してきた方針を改め、特定の地域や集団、組織等で、①複数の患者が発生するなど感染の確率が高い、②接触を生じやすいなどクラスター連鎖が生じやすい状況——の条件に該当する場合を新たに対象に加える方針を示しました。

この新たな方針は15日、都道府県などに通知されたもの。

西澤議員の話
身近に迫って来た感じを強くしています。

G・Oトラベルは延期せよ

東京、大阪など大都市部をはじめ、滋賀県にも再び感染が広がっているこの時期に観光旅行の喚起策という全く矛盾した「G・Oトラベル」キャンペーンに象徴されるように、安倍政権の感染防止における無策と科学的見地を無視した「自粛解除」が感染拡大の元凶ではないでしょうか。感染症の専門医が以前から強調しているPCR検査を欧米並みに拡充することが重要です。

私は全協で、PCR検査を子供さんだけではなくご家族、感染拡大が懸念される地域・団体、施設的全員を対象として県が戦略的に進める必要があることなどを提起しました。野瀬町長は緊張感を持って取り組むとともに三日月知事に要請すると答えました。

臨時議会

- ◆8月3日（月）
9時全協の後開会
- ◆役場 2F 議場
- ◆コロナ住民支援策第4弾などが審議されます。

国保税の減免制度 ご存知ですか？

国の新型コロナウイルス感染症に伴う支援制度を受けて全ての自治体で実施しています。町担当課の報告によると20日現在8件の申請が出されているとのこと。まずは、ご相談を！

対象

- ①主な生計維持者が新型コロナによって死亡または重篤な傷病を負った場合
- ②事業収入等が前年収入から3割以上の減少が見込まれる場合

主な生計維持者の前年所得額	減免割合
300万円以下	100%
400万円以下	80%
550万円以下	60%
750万円以下	40%
1000万円以下	20%

甲良民報

2020年7月26日 797号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士 373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご意見・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

©日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】